

セブ・プログラムアンケート

参加期間： 2013年 2月 6日 ～ 2月 21日 2週間

参加動機：個人的に海外ボランティアに興味があり、孤児院での活動を希望していて、(言い方が悪いかもしれませんが) 東南アジアの発展途上国であるフィリピンに行ってみたく思ったから。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マザーテレサ孤児院

活動は全て午後からで、2時半～5時までの約2時間半でした。

流れ：子どもと遊ぶ → 食事を手伝う → お風呂に入るのを手伝う → また遊ぶ

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

とにかくはしゃぎまわりました。子どもたちはとても元気で、いくら遊んでも全然疲れてくれなかったです(笑)。一緒に遊ぶことが一番の秘訣で、すぐに仲良くなれました。危ない遊び方はすぐ注意されました(ジャイアントスイングや足をつかんで持ち上げるなど)。子どもたちの方から寄ってきてくれるのは嬉しかったですが、ちょっと乱暴なところもありました(服や髪を引っ張る、突進してくるなど)。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

折り紙や紙風船などをいっぱい持っていたのですが、シスターに渡してそれっきりになってしまいました。実際、持っていったものでは一つも遊ばなかったです。織り方なども覚えていたので、正直にいうと、少くらい一緒に使いたかったです。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

小さなペンションでした。部屋はベッドが大部分を占めていたので、いつもその上に座っていました。空調、トイレ、シャワーは部屋にあったので、生活自体には全然問題なかったです。大きい虫は出なかったですが、ありはしょっちゅう出てきました（食べ物を放置していなくても！）。ほぼ毎日手入れしに来てくれたのでごみの処理には苦勞しなかったです。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段（タクシーでの所要時間・料金など）を教えてください。

- 1、ふつうはタクシーで片道100ペソ前後 30～40分くらい
- 2、道が混んでいてタクシーが来られない時はジープニーの乗り継ぎで、約20ペソ
タクシーよりは確実に時間がかかる

食事はどのようにしましたか、料金は？

朝：食べないか、買って来たドライフルーツなど

昼：適当なところのジャンクフード（ジョリビーやマックなど） 約100ペソ

夜：豪勢な日はコーディネーターの人が連れて行ってくれる。 約300ペソ

普通の日にはマックや、スーパーで買ったカップめんやお菓子 約100ペソ

滞在した地域でお勧めの場所は？（お店・レストラン・ショッピングモールなど）

滞在したペンションはキャピトルの近くで、歩いて15分くらいのところにロビンソンという名前の小さいモールがあったのでよく行っていた。両替もでき、レストランやスーパーもあるのでお勧めです。夜はライトアップされてとてもきれいです！

コーディネーターのセッションに関して：（○で囲んでください）：

○非常に良かった 良かった 普通 良くなかった 悪い

感想：ドゥエインが週4回くらい会いに来てくれて、何かしたいこととかお勧めのことを教えてくれてとても助かった。一緒に色々なところに行ったり、やったり、とても良い思い出になった。第一に私たちのことを考えてくれていたので、落ち着いて滞在できた。少し喋りたがりなところもあるが(笑)、とてもいい人でした。

オプションツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか？ どれくらい時間・料金がかかりましたか。

カオハガン島 2泊3日 約23000円 (5食付き その他オプションなし)

その感想をお聞かせ下さい。

とても小さい島で、20分もすれば十分島を一周することができました。海辺の岩場にはカニが、海岸をちょっと出て水の中をみると、ヒトデやウニがいるなど、とても自然的な島でした。泊ったロッジは木を組んだもので、潮風が四方八方から入ってきて、最初は新鮮でしたが、夜寝る時も常に入ってくるので、気持ち悪くなってしまいました。部屋はベッドがあるだけなので、生活は面倒が多かったです(明かりもないので注意!)。セブでの生活に比べると、私は、金銭的にも高いと正直思っていました。(参考までに・・・)

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの(生活のうえで、又ボランティア活動のために)

セブでの生活は基本的に全然不自由しませんでした。

蚊が多いので虫よけスプレーは持って行った方がいいかもしれないですが、実際全然効果はなかったです(笑)。(かゆみ止めは効きました!)

トイレットペーパーはありましたが、そのまま流せないなので、袋を持って行ってよかったです。袋は食べ物の保管などにも使えて便利です!

ボランティア活動は特に、普段の生活でも汗をとにかくいっぱいかくので、その対策になるもの! 雨具はスコールが多いので、荷物に余裕があればあると安心です(現地でも買えますが・・・)。

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

子どもたちはみんな個性があるので、その子に合った遊び方が必要だと思いました。男の子は比較的皆はしゃぎますが、女の子とも同じように遊んでしまうと、怒らせてしまうこともあったので、注意が必要です! 赤ちゃんも多かったですが、恥ずかしがりの子も多いので、慎重に近づいて、時間をかけて打ち解けていくことが大切でした。

また、仕事は自分から見つけることを心がけた方がいいです。食事後の掃除など、一通りの流れが分かったら、積極的に行動しましょう。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

体はそんなに強くはないと思うのですが、持参した薬は頭痛薬一回しか使いませんでした。水には注意して、水道水は絶対のみませんでした。レストランで出てくる水は、明らかに匂いや色が危なそうでない限り、普通に飲んでしまって問題なかったです。手は気づくとすぐ汚れているので、できるだけ洗うようにしていました。屋台の食べ物も、生ものでないものなら、食べて問題なかったです。

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

セブに行く前は、治安的にも衛生的にも色々な心配があったのですが、実際に現地についてボランティア活動、日々の生活をするにあたって、自分がいかに悪い方に考えすぎていたかを痛感して、セブの人々に申し訳なく思っていました。街中一人で出歩いても全然問題ないですし、逆に一人で行動していた方が、好きなことができ楽でした。(タクシーでは気をつけないと、高く請求されたり、目的地についてないのにおろされたりします。)文化や常識的な違いで言うと、一番大きいのは「道」に関してでした。交差点以外に信号はあまりなく、自分で判断して行ける時に行かないと、車は待ってくれないのが普通というのが、ちょっとした問題でした。また、車の質が悪いのか、排気ガスがすごく不快で、よく頭が痛くなったのを覚えています。匂いに関してだと、よく道でフルーツを売っているのですが、炎天下でもかまわずやっているのです、若干腐ったフルーツと、排気ガスのあいまった匂いはなんとも印象的でした。そんな道でも、ちょっと路地裏に行くと、子どもたちが走り回っていたり、バスケットをやっていたりするのを見ると、日本の子どもたちにはないような活気を目にすることができて、とてもいい経験になりました。

・・・ここからは参考までに・・・

治安・衛生の両面とも、日本に生まれ育ったというだけで、比較的安心することができるのが少し残念に思う。学校に行きたくても仕事をしなければお金が無いという家族、ましてや家族とすら一緒に暮らせない子どもたちを今回のボランティアを通して目にし、生まれた国の違いがどれほど人生に影響を与えているのかを痛感しました。日本では当たり前でもある、家族との食事を夢見ている子どももいると思うと、日本の子どもたちの自分の思い通りにならないとダダをこねる態度(日本に限ったことではないが)をみる目も変わってきました。そんな中でも、まだ小さい子どもだからかもしれないが、「ある物」で明るく遊び、暮らしている人々をみていると、十分満足はしていないとは思いますが、自分の生活を受け入れている様子がかげえ、日本との人間性の違いを発見できた。今回のプログラムは、ボランティア活動と共に、発展途上国の人々の生活を垣間見ることで、私の人生に多大な影響を与えてくれると同時に、人生観や視野を広げてくれた。

《ボランティア先での写真》





參加時年齡：20 歲以下、○20 歲代、30 歲代、40 歲代、50 歲代、60 歲以上
性別： ○男性 女性